

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くろかみ学園児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	131	(回答者数) 91
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 7日		～ 令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 25
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多くのお子様が利用されていることで保育所等訪問支援事業に対して、園の先生方のご協力が得られやすいことです。	保育所等訪問支援事業だけでなく、日頃から園の先生方と連携が取れるように情報共有を行っています。	訪問の機会が増えるよう、職員が訪問しやすい環境(職員の増加や支援技術の向上)作りに取り組みます。
2	訪問した職員だけでなく、訪問の様子を聞いて取り組めることをチームで考える環境があることです。	チームで連携して支援方法を考える環境作りをしています。	チームで話し合う時間を確保する取り組みが必要と考えます。
3	園の先生から申し出があればセンターの療育を参観して頂く機会を設定していることで、園との連携がスムーズに出来ることです。	センターでの療育を参観して頂き、園とセンター両方の環境を見た上で共通した支援を考えることが出来ています。	センターへの訪問が困難な先生には、保護者様に同意を得た上で、動画で療育の様子を見て頂くなどの取り組みを行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期の学校休業日のある月には、放課後デイに職員が配置される為、訪問が出来ない現状があります。	児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業を優先していること、保育所等訪問支援事業の専任職員を配置していないことが要因です。	現在の所は、すぐに解決が出来ないのが現状です。夏休み期間中などは、送迎時の情報共有などでカバーします。
2	契約利用者様が多いことで、訪問が定期的に出来ていない現状があります。	児童発達支援事業を優先していること、保育所等訪問支援事業の専任職員を配置していないことが要因です。	現在の所は、すぐに解決が出来ないのが現状です。事業所全体の職員数を増やして、訪問回数が増えるよう努めます。
3	訪問時間の関係で、園の先生と十分な振り返りの時間が確保できない現状があります。	職員配置の関係で訪問の時間に制限があったり、園の先生も多忙であったりすることが要因です。	職員配置を増やすなど、訪問に時間が取れるように努めます。また、園の先生の時間に合わせて振り返りの時間を設定するなど改善に努めます。